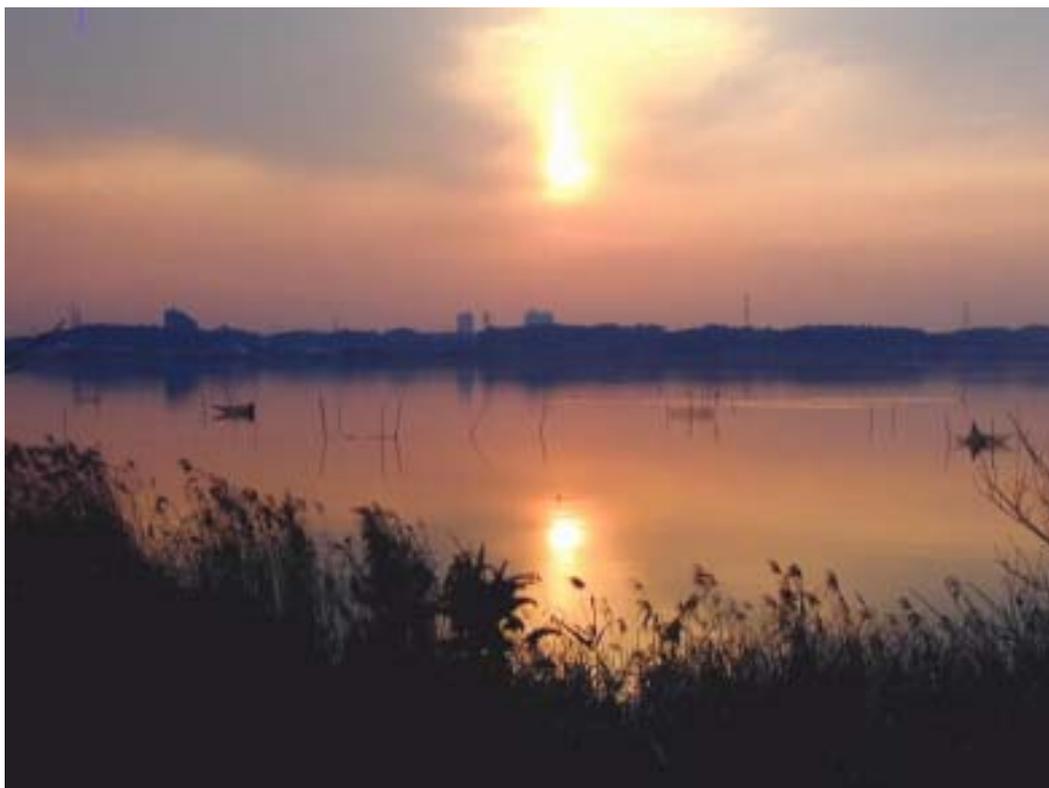


関東で 思いつくままに 2000.1-2003.2.

1. 冬の手賀沼・印旛沼 2000.1.13.
2. 花粉症を逃れて 渡良瀬川 遊水池へ 2000.3.11.
3. 柏便り 2000.4月 春点 描
4. 東京都江戸川区 江戸川 河川敷 『小岩菖蒲園』 2000.6.25.
5. 「江戸の変化朝顔」 「雑草」と「江戸の変化朝顔」 2000.7.19.
6. 「めりけんのパンパンパン」 2000.7.19.
7. 「陸の松島」 栃木市 太平山 2001.3.24
8. 幕張界限 2001.2.25.
9. 「ご飯」「メシ」の言葉にこめられた日本人の思い 2001.5.14.
10. 柏の日曜日 梅雨の合間に 菖蒲・紫陽花・バラの花を見る 2001.6.24.
11. 夾竹桃の語らい 夏を告げる夾竹桃の花 2001.8.6.
12. 『日本人 はるかな旅 日本の源流』展を見て 2001.10.10.
13. 関東・柏で『京都うまいもの市』 2001.11.12.
14. 東京「珈琲の老舗」の「Aging 珈琲」 2002.2.18.
15. 縄文の土器が語る「物づくりの技」とプロの眼 2002.9.6.
16. 癒しの由来 2002.10.28.
17. 映画「阿弥陀堂だより」を観て 2002.10.27.
18. Merry Christmas !! 2002年 柏でのクリスマス 2002.12.24.
19. 暖かい冬の週末 柏 ひだまり Walk 2003.1.26. & 2.1.

1. 冬の手賀沼・印旛沼 2000. 1. 13.



【印旛沼の夕暮れ 2000.1.13.】

暖かい冬の日 手賀沼・印旛沼の岸でゆったりすごした時の写真です。

休日には、ぼやっと 芝生に寝転んで夕日を見る余裕も出てきました。

50cc のバイクに乗って 柏から手賀沼－印旛沼－佐倉歴史民俗博物館－印旛沼－我孫子－柏と休日の午後楽しんできました。

柏から手賀沼の湖岸へ。手賀沼・印旛沼と言えば 生活排水の流れ込む汚い泥沼と聞いていましたが、どちらも湖沼をきれいにする市民運動も起こり、湖岸一体はきれいな自然公園に整備され、市民のいこいの場となっています。

手賀沼は今 生活排水が流れ込むのが完全にシャットアウトされ、浄化が進んでいます。芦原が生い茂る湖岸は講演と散歩道に整備され、ゆっくりと walking やジョギングが楽しめる公園。

印旛沼の湖岸も公園に整備され、風車がまわり、景色の良い湖岸の田園風景を作っています。

民俗博物館から帰る途中、丁度 夕日にでこわし、茜色に染まる印旛沼の写真を撮って帰りました。



【手賀沼遊歩道】



【夕暮れの印旛沼】

新聞や昔の話で抱いていたイメージとは全く異なる広い湖岸の都市公園になっているのに驚き。手賀沼では 春の桜 四季それぞれのバードウォッチング 市民マラソンと 四季折々の行事が生まれ、市民公園となっている。また、数多くの市民運動とともに水質浄化等環境問題に取り組むシンボリック役割も担っている。

2. 花粉症を逃れて 渡良瀬川 遊水池へ 2000. 3. 11.

一瞬 ゲゲゲの鬼太郎の世界に

wtrse.htm by M.Nakanishi



渡良瀬川 遊水池に広がる広大な芦原 この中に旧谷中村が眠っている

奥日光から流れ出た渡良瀬川が茨城県・群馬県・栃木県境がかさなるあたり日光・赤城連山の山裾から関東平野にはいり、利根川との合流点 古河市のすぐ北に地図で見ると広い広い遊水池がある。貯水池と芦原 尾瀬ヶ原の数倍の規模。ちょうど古河市がすっぽり入るほどの規模である。

この遊水池の真中には 日本最初の鉍毒事件といわれる足尾鉍毒事件の中心「旧谷中村」が眠っている。



渡良瀬川遊水池の旧谷中村



足尾銅山からの鉱毒を含んだ水が流れ下り、この鉱毒の防止を求めて、谷中村の田中正造らが立ちあがった地である。またこの地域は暴れ川 利根川・渡良瀬川の氾濫によって再三水害に見舞われる土地でもあった。

明治の終りに、下流利根川流域の鉱毒を防ぎ、また関東平野へ一気に流れ下った水が堤防を突き破り、関東平野に暴れ込むのを防止する目的で、この足尾鉱毒反対運動の中心であった谷中村を中心とした村々を強制移住させて、広い遊水池と川筋の改良が実行され、広大な遊水池作られた。

現在、上流側半分はかつての谷中村も含め、広い広い芦原の遊水池となっている一方、下流の関東平野側半分が貯水池として、関東の水瓶のひとつになり、この遊水地とその周辺は大規模な自然公園として整備されている。

3月 11日(土) 関東平野の花粉の飛散激しく このところ花粉症 眼・鼻 厳しい状態。
テレビを見ていると、一番飛沫濃度の高いのは山裾から関東平野の内部の 100km 圏。丁度焦点の位置にあたるのが柏。柏は湿気が多く、私の会社の製品溶接材料には大敵で、一人住まいだと湿気て大変。一方 それが樹木を育て、緑の濃い街を作っていると納得していました。
花粉の飛沫も同じ、関東平野の焦点の位置だから・・・これはもう仕方無しと納得。
テレビの言う山裾まで行けば 花粉症軽くなるかも……………。

地図を広げて眺めると 真っ先に渡良瀬川の大遊水池が眼につきました。柏から利根川にそって北へ約 60km。古河市の北に古河市がすっぽりはいる広大な遊水池が利根川に流れ込んでいました。
日光・赤城の山間から流れてた渡良瀬川が関東平野に出る出口にこの遊水地がある。
関西の川では見られぬ大遊水池で、以前から一度は行って見たいと思っていました。
ちょうどいい機会 花粉から逃れて行ってきました。



行ってビックリしましたが、ヤッパリすごいスケールの遊水池でした。川の上流側は日光・赤城の山を背に延々と続く芦原。下半分は大きな貯水池。地図で想像していたよりもはるかに大きく、渡良瀬川を流れ出た水は、この遊水池を経て、この川下で利根川へと合流する。

川下側半分の広大な貯水池の真中を貫く川中の道が芦原の中へと延びている。池の周りは良く整備された自然公園で、野鳥が群れ遊び、良く手入れされた緑地公園となっている。まずは貯水池を一周して、それから芦原の中へとサイクリング車を走らす。
暖かな昼下がりで、遠くには赤城の山々が浮かび、鳥のさえずりを聞きながらの快適なサイクリング。
池を突ききって、ちょうど芦原が始まるところが、中島になっていて、整備された水辺の公園になっていて、小さな売店などもあり、遊水池のセンタになっている。





後で気がついたのだが、かつて谷中村のあった川の中の高台の



ところである。店や家があるのはここだけでまわりには看板ひとつなく、生い茂った芦原と池の中に一本道が続いているだけである。

明治の末 度重なる渡良瀬川の氾濫とともに、足尾鉍山の鉍毒がこの川に流れ出て、この肥沃な土地を汚染し、田中正造らの激しい運動が起こったところ。この鉍毒と度重なる水害を防ぐ為に、旧谷中村など池の中心部にあった幾つかの村を強制移転させ、広大な池と川の改修がなされたという。

見渡すかぎりの背丈を越える芦原の中に、ぼつぼつと幾つかの小高い丘とその目印のように何本かの樹木が残され、幾つかの墓標等が取り残されているのみである。本当に何か隔絶された別世界の中にたった一人足を踏み入れた気分。ちょうど「ゲゲゲの鬼太郎」の世界に入ったような気分がした。



この小高い丘も生活の知恵がもたらしたもので、渡良瀬川が氾濫したときに洪水から守るために丘を築き、そこに家を建てたと言う。一つ一つの丘がそれぞれ昔そこに家があったという証明である。

もう 今は芦原の中に埋没し、かつての村の面影もない。

延々と続く芦原を抜け、土手に出ると芦原の続くはるか奥に赤城・日光の連山がかすんで見えていた。

柏からは 東武野田線・日光線を乗り継いで約1時間30分。

板倉東洋大前で下車。新しい住宅地が広がる反対側を出て、土手にあがって行くと遊水池。

サイクリング車に乗って土手を上がって行く人を見て、僕もサイクリング。

遊水池はよく整備された公園。もっとも池と芦原の中なので店は全くなし。ゆっくり巡って3時間 広大な池を巡り、芦原の中をつき切る水辺の野鳥が群がる自然一杯の快適なサイクリングコース。



身の丈を越す一面葦原の中に旧谷中村の痕跡があり、一瞬昔の足尾鉍毒事件の現実に戻されましたが、それ以外は本当に広い広い芦原の気持ちのいいお勧めのハイキングコースでした。

花粉症は完全に吹っ飛んで楽勝。花粉情報どおり、関東平野の山裾の方が花粉は少なそう。

体の調子も良いので、そのまま「佐野ラーメンの街 佐野市」まで足を伸ばし、「佐野ラーメン」を食べて帰りました。有名なほどのラーメンでなし。ごく普通の味。もっとも麺が平うち麺でしたが・・・

柏に帰ってきて 駅へ降りたとたんまた、涙とくしゃみ。

「第二の渋谷」として 活気のある街「柏」は良いにつけ悪いにつけ 関東平野の焦点・へそであると感じた次第。

2000.3.11. 柏にて 中西

3. 柏便り 2000.4月 春点 描

kswaharuprint.htm



1. 花粉症の事
2. 柏あけぼの山の花見 4.08.
3. 奥会津下野街道 大内の宿 4.07.
4. 大阪 wlding show 4.13.
5. 米子でイースター 4.26.

山口県 別府弁天池の湧水
【秋吉台カルストの湧水】

1 .花粉症の事

やっと直りました。 本当に柏では大変。 皆さんから色々の対策メールもらいました。本当にありがとうございました。真贋ゴツチャですが、色々学びました。

独自研究開発したミネラル水のサンプル送るとメールくれた M 君。

すぐ秋吉台カルスト弁天池の湧水思い出し、効くだらうなぁ・・・

残念ながらインターネットアクセスうまくゆかず 試せなかった。

塩水で眼を洗えと N 君。good でした。 でも柏で排気ガスを吸うとダメ。

排気ガスの影響は甚大。6号線 16号線の走る柏。もうクシャミ・鼻水・涙の連発

関東平野のちょうど円の中心柏。レンズの焦点と同じ。むしろ山間の方がまし。

群馬の日光や赤城の山裾行くと花粉症も嘘のよう。good でした。

『杉の次ぎはヒノキ。薬も目薬・スプレもみんなその時ダケ。あきらめろ』

と柏の薬局のおじさん。

正論です。でも しっかり花粉症の薬も売ってましたよ。

花粉症はほんといやになります。 来年若いことを祈ります。

ミネラル水の効用色々あり。

興味のある方下記アクセスを <http://www.vital-net.co.jp>

もう什数年以上も水を研究し、ネットビジネスやっている M 君のサイトです。

2. 柏あけぼの山の花見 4. 08.

関東の花見はどこも花より人の方が多し人出。昔良くやった光景を思い出していました。
来年は 盛大に飲み会やりたいな。

学生時代の京都平野神社の夜桜

尼崎 研究所横で車のライトで照らした溶接の花見

山口美祢の川沿いの夜桜。J社の外人と夜中酔っ払って。



【柏 あけぼの山の花見 2000.4.8.】

3. 奥会津下野街道 大内の宿 4.07.



下野街道と大内宿

東京は桜 鬼怒川は梅が満開。奥会津 会津田島は雪が残っていました。
江戸時代の萱葺きの家並が残る宿場町にあこがれ、残雪の残る峠道を歩く。
峠を一つこえて、秘境の匂いのするさらに山奥の峠の一軒屋のばあさん。年末に「神戸ルミナリエ」に行ったという。秘境はなくなりました。



奥会津 下郷村 大内宿

観光化したとはいえこれだけ萱葺きの家並が整然と残っているところはない。
そういう意味では秘境。

4. 大阪 wlding show 4.13.

十数年ぶりの溶接展。

不況の中 どうなのか心配しましたが、ガンバル実感持てました。



大阪 welding show で

5. 米子でイースター 4. 26.



春の大山と大山元谷

今年のイースター 米子で迎えました。
娘の赤ちゃんがこの日日本聖公会米子聖ニコラス
教会で幼児洗礼を受けました。
快晴にめぐまれ、大山が本当に美しい1日でした。



米子 聖ニコラス教会

4. 東京都江戸川区 江戸川 河川敷 『小岩菖蒲園』 2000.6.25.



今週も週末雨。久しぶりに家内が柏にきているが、雨で動く事できず。

梅雨に入って、週末雨が続けている。

「雨でも行ける所ないのか?」考えたあげく江戸川の花菖蒲園へ行った。長い事「寅さん」の柴又へもいていないので、久しぶりに「帝釈天」にもより、「草だんご」食べて帰ることで決まり。



小岩花菖蒲園は京成電車江戸川鉄橋の下の河川敷ちょうど花菖蒲が満開。雨で人も少なく霧雨の中に白と紫の花が咲き乱れ、川面のもやの中 対岸

のビルがかすんで見え、非常にきれいでした。

ここはお奨めです。もっとも 行き方きっちり押さえないと何処へ行くか判らない。



常磐線金町駅で京成に乗換え、高砂駅へ。そして京成の本線を千葉の方へ3駅江戸川台下車。

このように書くとス

ムースに見えるが、高砂の駅でパニック。成田・千葉・西牧之原・上野・浅草・羽田。すべて違う方向の電車。間違っ一度高砂駅から青砥駅へ行ってまた帰ってきた。また、ここは京浜の海岸を走る総武線「新小岩」にも近いようですが、はっきりせず。家内に日頃の地図の強さ笑われました。



霧雨けふる江戸川の土手「寅さんの散歩道」を帝釈天まで約1時間のんびりと歩いた。

静かな鳥のさえずりも聞こえ、都会の喧騒を離れ、霧雨けむる兩岸の遠景を見ながらの落ち着いた WALK。柏の北の利根川べりもそうですが、川の土手の WALK は歩いているだけで楽しくなる。出会ったお年寄りに道を尋ねると「帝釈天様は土手を行くとまもなく見えてきます」の答え。さすが地元。古くから根ざした言葉として「帝釈天様」がずっと出てくる。この言葉に流行とは別に、地元の生活の場として根づいた人達がいること感じた。そう言えば「寅さんも そう いていたなあ」

参道はあいかわらず、雨にもかかわらず多くの人でにぎわっていた。家内は前に来た時のこと本当によく覚えていて「ここで何した ここで名に買った」と驚くばかり。高木屋で例の「草だんご」食べて帰ってきましたが、梅雨時の楽しい午後のひとときでした。同時に私の「本当に物覚え」の悪さをも認めさせられた午後でした。

2000.6.25. 柏にて by M.Nakanishi

『 柏 便 り 』 日本人の感性 1

5. 「江戸の変化朝顔」 「雑草」と「江戸の変化朝顔」 2000.7.19.

国立歴史民俗博物館 歴博講座 辻誠一郎氏講演より
Asagao.htm by M.Nakanishi



7月8日 千葉佐倉の国立歴史民俗博物館で辻誠一郎氏の「古代縄文時代から現代までの植生」の話を聞きました。

辻氏は山内丸山遺跡など古代の植物学の権威なのですが・・・ほんと面白かったですよ。

その骨子はだいたい次ぎの通りでした。

古代縄文の時代から現代に至るまで、その時々樹木・植物が食物として、また住居材料・生活道具等の材料として、そこに住む人達と共生し、それらとのかかわりが、日本人の感性を非常に豊かで、多用なものに育て上げた。夏の朝 みんなが楽しむ朝顔もそんなひとつ。

奈良時代に中国から薬草として伝わり、日本人が品種改良を続け、幾つもの種類に育てた朝顔。

その中で、種をつけず一代限りの花の美しさを連綿として伝えてきたのが「江戸の変化朝顔」。



変化朝顔 【親株と変化朝顔】国立歴史民俗博物館資料より】

辻さんは いつも説得力

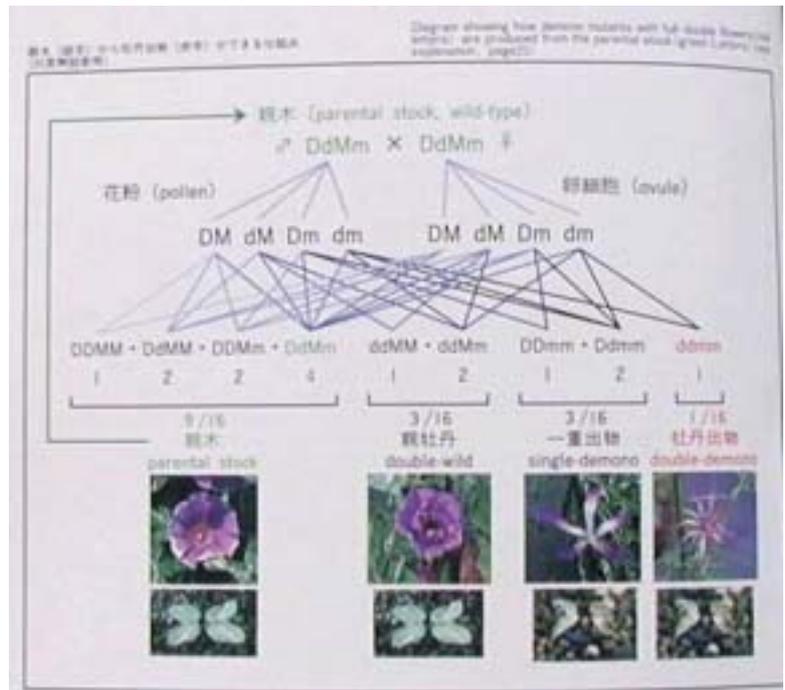
があるのですが、この「日本人と植物」の関わりについての「江戸の変化朝顔」の話は、日本人の「感受性・伝統の技」物作りの原点を実証する話としてもきわめておもしろかった。

この変化朝顔では幾つもの種類があるのですが、大輪の花が切り放たれ 花びらとなり、朝顔とは思えぬ美しい花を咲かせ、江戸の人達はその美しさと変化を楽しみました。

そして、この種をつけない一代限りの花を次の年にも楽しむため、別に咲かせて準備した親の種をまき、その中から変化朝顔になる苗を分別し、同じ変化朝顔を次の年にも楽しみました。

こうして種をつけない美しい朝顔を幾世代にも守り続けてきたと聞きました。

メンデルの法則が発表される前に経験的にその法則を知り、親株を注意深く観察すれば、常に突然変異がある確率でおこるので、この変異を見分け、種を取る親株と別けて、その変種だけを根気よく取出し、育てて花を咲かせる。これが「江戸の変化朝顔」。まさに物作りのプロの仕事である。



幾世代 数百年も咲かせ続けてきた江戸の人達の職人技。いわば日本人の観察眼と自然に対する深い感受性で、人手で護り育ててきた江戸伝統の変化朝顔。これが日本人伝統の技。

日本では ポピュラーな杉や松そして コウヤマキなどの温帯針葉樹は古代日本が寒冷であった頃の生残り。また、次ぎの温暖化で生まれたブナの原生林も同じ。世界的にも貴重な遺産。これら古代の生残り組が現世の植物と共存する世界でも貴重な位置にある日本。身のまわりにある「雑草」も縄文時代から稲と同じように人々が改良を重ねてきた栽培植物の生残り。ある時代に忘れ去られたま連綿と種を繋いで生き延びてきたものらしい。

「稲など栽培植物が途絶えた時には 人は真っ先にこの雑草に頼らざるを得ないだろう。太古の人々がそれを食としたように...」と辻氏は言う。

そう考えるとこの日本の地にある雑草も「日本人の大事な物作りの技」。

雑草のルーツを知り、「今一度きつと何処かで人の役に立つ時が来る」と考えると忘れられた雑草も素晴らしいものに見えてくる。

このような世界に類のない「太古と現代の樹木や植物の交差点」日本で生きてきた日本人。

その独特の感性の技がなしえた植物が今も「日本伝統の花」として、また「雑草」として生きつづけていること驚きです。

日本人の心 豊かな感性と鋭い監察眼がなしえた伝統の技。それは今も物作りの基本。
大事にして行きたいものだとつくづく思いました。

2000.7.8. 千葉県佐倉市 国立歴史民俗博物館 歴博講座を聴講して

江戸の変化朝顔 インターネットより

朝顔が日本に入ってきたのは奈良時代の末期のこと。

当初はケニゴシ(牽牛子)と呼ばれ、薬草として扱われていた。渡来当初の朝顔は淡青一色で、小輪咲き。

その後 1000 年、変化はゆったりしたものだったが、19 世紀に入って栽培熱が高まり、多種多様なものが現れる。

ただしこの頃のもの、現在見られるような丸いラッパ型ではなく、変化朝顔。漏斗状の花がいどむような表情を見せる獅子咲、花弁が幾重にも重なる牡丹咲、風車のような車咲などバリエーションは豊富。

現在までにおよそ 800 系統あるとか。

江戸文化年間から明治期にかけて繰り返しブームが訪れ、花が競われもしたという。

『柏便り』 感性の話 2 日本人の生き方 ある仲間の会合で

7月10日 浅草 駒形橋「駒形どぜう」で「どじょう」をつつき、うっつしい梅雨をふっとばす会がありました。出席したのは学生時代の先輩・仲間諸氏十数人。

その会での話 みんな還暦近く、話題がそこに至った時、ある先輩いわく……

今の還暦の実質年齢は昔の 40 才。

いまや まだ老込む年でなし。みんな元気で 90 才を越えよう。

趣味に生きると言たって 日本人はだめだよ・みんな 仕事をしようぜ

「桜の蕾が膨らんだ」と言って飲み 「3分に咲いた。五分に咲いた」と飲み、

「さあ満開だ。桜の下で宴会」と飲み、

「散りぞめ」「葉桜になった」と飲み……。

花見ひとつとってもこれだけ楽しむ感受性は日本人にしかなし。

この感受性の高い日本人が ただ一言「花が咲いた。」の外人と同じ生き方ができようか

『日本人の生きざまは、趣味でなく、仕事をし、

またボランティアとして、自ら飛出し active に生きること。』これしかなし。

みんな難しいが、共感すること多く、感心して聞きました。

今年の梅雨は男性的。柏では、雹が降ったり、突然 「突風と大雨 雷」の集中攻撃。びっくりして逃

げ込んだ丘陵地。天気が回復して、いる位置がわからず、帰るのに苦労したこともありましたが、溶接材料の吸湿も心配しましたが、やっと梅雨明け。けっこう 関東楽しんでます。

7月19日 柏にて ・ 友達へのメールより M.Nakanishi ・

6. 「めりけんのパンパンパン」 2000.7.19.

銀座 木村屋のパン 木村屋の「西洋菓子」 「めりけんのパンパンパン」



柏の私の工場の向いに「銀座・木村屋」のパンや菓子の大きな工場があり、近隣の工場としてお付き合いをさせていただいている。関西人で良く知らなかったが、この「銀座 木村屋」というと東京・関東一圓ではおいしいパンの代名詞で、銀座の店には長蛇の列が出来、中でも「アンパン」は木村屋の名物として名高いという。

私の会社のY氏などは東京へ行くと銀座へ寄ってこの絶品の「アンパン」を必ず買うという。

パンといえば私なんかは家内の講釈を裏覚えに、

すぐフロイドリーフやドンクや何処何処のパンと神戸のパン屋の名前が口を突いて出てくる。

パンやケーキ クッキーなど結構神戸の出店を関東一圓の百貨店やらでみかけるので、木村屋といってもまあ横浜かどこかの流れの関東地方区のパン屋さんと思っていた。ところが どうも違うらしい。



「銀座 木村屋のパン」は神戸のパン屋がそうであるようなドイツパンとは違う流れのようだ。もっと由緒たらしい日本流。先日、この向いの「銀座 木村屋」さんにY氏と訪問し話を聞いた。

この「銀座 木村屋のアンパン」は「今も手作りの限定のパン。パン生地には酒糴を使って発酵させるので、焼きたてよりも1日置いた方が、しっとりしておいしくなる」という。

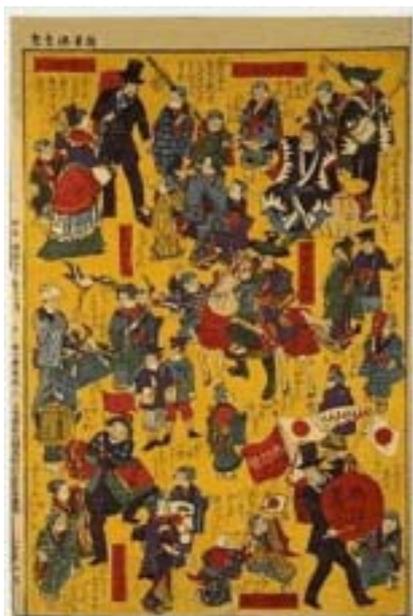
パンは焼きたてを待って買う御仁の多い神戸とはちょっと違う。

また パンに酒糴をかたくなに護って作るアンパンに興味深深。

調べてみてビックリこの「木村屋のアンパン」明治の初め日本初のアンパン。

インターネットで調べると当時の広告の絵がありました。

それには 文明開化の時代 西洋服を着て太鼓を叩く宣伝マン「木村屋の西洋菓子」 「木村屋のパンパンパン」 とありました。



神戸とは違った全国区のアンパンで、東京ではみんな知っているという。こっちが田舎者でありました。近々、銀座へ行ってこの「アンパン」を買おうと思っている。

最も「銀座 木村屋」さんの柏の工場で作っているアンパンもオートメーションではあるが、パン生地も酒糀もすべて銀座と同じ。やっぱりおいしい「あんパンパンパンパン」である。

関東一圓何処でも手に入るようになっているという。

一度試してください。

「柏に名物なし」といっていましたが、大げさでなく、

ちょっとした名品であります。

後日談

昨日 銀座へ行って「木村屋」のアンパン買いました。

銀座の時計台「服部時計店」のとなりに「木村屋」有りました。小さなアンパンで1個 120円とちょっとパンとしては「たかいかなあ」と思いましたが、やっぱりうまい。

しっかりとした歯ごたえとうまいアンコ。お奨めです。米子にいたる娘の主人が東京なので電話すると娘の方が良く知っていて、酒種のアンパンであることなどどうも知らんのは僕だけでした。

「講釈より 早く送って...」と。

早速 銀座に行って送ってやりました。



7. 「陸の松島」 栃木市 太平山 関東平野を望む

tyheisn.htm 2001.3.24. by M. Nakanishi



栃木市 太平山 謙信平から関東平野を望む

3.24. 3月になって 少し暖かくなりだすと共にまた恒例の「花粉症」になやませられている。

もう毎年であるが、今年は特に厳しい。柏の病院の先生が花粉症の談話で雑誌にのるくらいだからやっぱり柏は凄いようだ。

花粉症に負けてばかりいられないし、そろそろ動き出さないと・・・・・・・・

関東平野を一望できる山として「筑波山」があるが、もう一つ栃木市の西にそびえる「太平山」。

春の足馴しの山としては恰好。東武電車を通るたびに一度ハイクしようと思っていた矢先に「岳人」2001年「春山」特集号に掲載された。

半日で「関東平野」や「栃木市」を眺めながら尾根伝いに縦走できる山。

そして 一番端の太平山 謙信平には栃木市からドライブウェイが通じ、かつて上杉謙信が見下ろす関東平野を「陸の松島」とめでた美しい場所。

朝ゆっくり柏を出て 東武電車で栃木市の一つ手前の「新大平山下」で下りて 葡萄畑の続く野道を大平山の山々の下にある太中禅寺へ。

季節はずれの葡萄畑であるが葡萄の木の根元には紫やピンク青の花をつけた野草の絨毯。もう春まっさかり。この葡萄畑の間を抜け、山にかかるところに太中禅寺があつた。

ばかばか陽気の昼間 誰もいない林の中 本堂の前には 梅とともに桜が満開の花をつけていた。



太平山県立自然公園

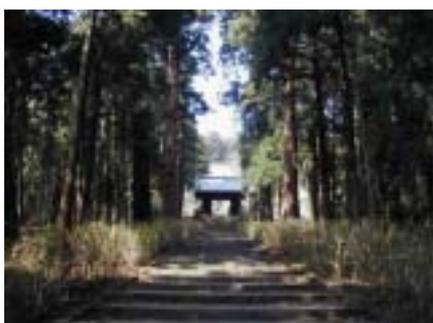


葡萄棚の下の野草 花の絨毯



大中禅寺 入口

太平山南麓 大中禅寺



大中禅寺ーぐみの木峠ー太平山ー太平山神社

この大中禅寺から山道。 林の中を一機に尾根道へ登って行く。大きな樹木の露出した根が編み飲めのように道に張り出し美しい。

視界はさほど開けないが、樹木の間からかいま見える下界の平野と樹木の変化が結構面白い。苦もなく大平山と晃石山の鞍部のぐみの木峠に立ち そこから稜線伝いに太平山へ

稜線の右手からは佐野方面の関東平野が木々の間から見え隠れ、左手には栃木市が広がっている。

一帯はかつての山城の跡。浅間神社が祭られている太平山のピークにほどなく辿り着く。視界は全くひらけない。さらに下って行くとまもなく太平山神社の境内にはいる。ここへは栃木市からドライブウェイが通じ、多くの車が行き交い、今までの静かな山歩きとは趣が一変する。

【太平山 尾根道で】



謙信平

ドライブウエ-を約 15 分歩くと関東平野を見晴らす展望台のある「謙信平」沢山の茶店が並んでいる。

名物のよもぎだんごをほうばりながら関東平野を見晴らす。

春かすみがかかって はっきりはしないが、広い関東平野の中にぽつぽつと森や丘が浮いたように見え「陸松島」とよばれるものなるほどと思う。美しい風景である。

まわりは良く整備された公園でたくさんの桜の木がうわっているが、ここはまだつぼみ固し。栃木市民の憩いの場なのだろう。



【大平山 名物 焼き鳥・だんご・玉子焼き 謙信平に並ぶ茶店で】



栃木市



暖かい陽気に昼寝して ドライブウエ-をぶらぶら約 1 時間栃木市街へ下る。街からは西に太平山が山裾を左右に広げ、栃木市からのながめが一番美しい。

栃木市は蔵が多く残る美しい街。久しぶりに街中を歩いて栃木駅へ。山歩き 3 時間 街で 1 時間 春の暖かい午後 郊外ハイクを楽しみました。栃木側からのハイクは栃木市がずっと見えますが、ドライブウエ-との競争であまり勧められません。

太平山 非常に低い山ですが、静かにゆっくり歩ける気楽な楽しい山でした。ここまで来ると昨年と同様 杉等林の真っ只中ですが 花粉症もふっとんでいます。まあ げんきなものですよ。

8. 幕張界限 2001.2.25.



2月25日 晴天。春の暖かい陽気にさそわれ、家内と二人幕張へ。
私の会社の「東京支店」が幕張のハイテク通りの一番高いビルの中にある。
幕張には毎月通うのですが、幕張界限をゆっくり休日に歩くのも初めて。

幕張へくるといつも気分リフレッシュ。何か若返った気分になるので楽しみです。いつも乗っている JR 幕張本郷駅から JR 浜幕張駅までの全長 18M の 2 両連結バス。

「よく 90 度のカーブ回るものだ」と何時も感心しているバス。
話をしても信じてくれないので乗る事。また、最近 幕張に出来た「アウトレット モール」そして フランスからやって来た大型スーパー「カルフル」など最近のニュースポット幕張界限の散策が今日の目的。



いつもは混み合うバスも日曜日でガラガラ。幕張メッセから見るビル街もほとんど新鮮でした。

駅前広場では アンティークの市場を覗き、フランス仕込みの「カルフル」の段のないエスカレータにビックリし、「アウトレットモール」では若い人たちが一杯。

殆ど人のいないオフィス街を結ぶ二階の迷路を歩いてビルの中を歩くとビルの中には洒落た店がある。
今日は幕張メッセでのイベントもなく、本当にどこも静か。

ゆったりとした雰囲気の中かで食事して帰りました。ちょっと都会的最近の流行と洒落た気分を味わって満足。

毎日がこれだけゆったりしてれば いいのですが、月曜日になると幕張も人人人のラッシュ。
また、明日から喧騒の一周間の始まりです。

2001. 2.25. 幕張へでかけて M.Nakanishi

ハイテクのオフィス街幕張メッセから



JR 浜幕張駅前のアンティーク青空市場



フランス仕込みの大型スーパー『カルフルー』



明るくて何処となく違う雰囲気の
店内。
まあ朝早い時間のスーパーなので
どちらか言うと家族ずれが多い。
でも、街のスーパーとちがって
若い夫婦ずれや洒落た中年のカッ
プルも多い。
平坦なエスカレータ ちょうど
「動く歩道」



が斜めについているのにはびっくりした。
何がと聞かれるとはっきりしないが、人が雰囲気を
作るのか「ビブレ」や「サティ」とはやっぱりちょ
っと違う。



JR 浜幕張駅前『アウトレットモール』

静かな街の中 ここだけは若者で一杯。 海外専門店の雰囲気もちよっぴり



9. 「ご飯」「メシ」の言葉と日本人の思い 2001.5.14.

2001.5.14. 「稲作とご飯」について、インターネット on line から配信されてきた。

古代より、日本文化形成の柱である「稲」。

今 この「稲」そして「日本文化・文明」発祥について 従来の考え方を修正すべき事実が次々と出てきて
いる。しかし、日本文化・精神の形成にかかわった「稲作」の役割は少しもゆるがない。

配信された記事から、「稲作」そして「ご飯」「めし」「ご飯をよそう」といった言葉の中にも 日本人の
「稲・米」によせる大きな重いがこめられていることを知った。

いま、日本人の米の消費量は減少の一途をたどり、農家は生産調整を強いられている。最も本年は「牛丼」
など外食産業の安売り競争の結果 米消費量が少し上向いたと言われているが... 。

その内容を一部抜粋紹介します。

「グローバルゼーション」の名の下に誤って「外見だけ また ある側面のみ」を見て答えを出す事が横行
する最近の風潮の中、日本人の根底にある精神的なゆったりとした物の見方にも眼をむけることが大事
ではないでしょうか

2001.5.14. 連休が明け 仕事にもどって

By M.Nakanishi

帯型と熱帯型が混在しながら展開されたことが明らかにされてきている。
以来およそ 3000 年。いま、日本人の米の消費量は減少の一途をたどり、農家は生産調整

「召しあがる」という尊敬表現の「メシ」、あるいは敬語として「御」をつけたゴハン。
うのに、ご飯だけは「よそって」いた、つまり「装って」もいた。

編集：小橋昭彦 より

10. 柏の日曜日 2001.6.24. 梅雨の合間に 菖蒲・紫陽花・バラの花を見る

6.24. 久しぶりの柏での雨上がりの日曜日 思い立って柏の街中で花見。

今年は「菖蒲」を見に行けず 「紫陽花」も街角でみかけるが・・・また、バラがきれいな時期 前橋のバラ園のニュースを聞いたが・・・・・・どれもまだ中途半端。

『しっとりとした菖蒲・紫陽花もみたいし、また ぱっと輝く明るいバラもみたい』と 6.24.の日曜日 柏のあけぼの山公園・柏の葉公園へ初夏の花見に出かけました。

しっとりした紫の菖蒲一輪・山裾に咲く紫陽花 落ち着きたいいい気分。

梅雨時に咲く同じ紫・青系の落ち着いた清楚な大輪の花なのに

菖蒲が「神秘・やさしさ・忍耐」

紫陽花が「移り気・冷酷」

と紫陽花にシビアー。

紫陽花は日本原産の花で万葉の昔からの日本を代表する花なのに花にたくされるイメージは余りよくなし。菖蒲との差は大きい。でも 梅雨あがりに家の軒下 山裾でさく紫陽花は一種の清涼剤。好きです。

バラはバラで明るくて良し。昔は深い赤の大輪の花がすきでしたが、美祢のKさんに教えてもらった小ぶりの淡い色のバラが今は落ち着いて好き。



柏の葉公園で

柏の街・公園を一日花をみながらゆっくり歩きました。

ゆっくり 落ち着いて歩いてみるといろんなものがこんなところに 知らないことが沢山みえました。

夕方公園の茶席で庭をみながらので抹茶と和菓子。

一日落ち着いたこんな日曜日もたまにはGOODです。

2001.7.1. by M.Nakanishi



あけぼの山菖蒲園・松葉町で

11. 夏を告げる 夾竹桃の花 2001.8.6.



2001.8.6. 柏 わが社 柏工場の庭で

今 私の会社の柏工場にある夾竹桃が美しい花をつけている。

今年ほど夾竹桃の花が美しいと思った事はない。家内に話をすると家内も京都高野で咲く白い夾竹桃を見てそう思ったという。

年がたってきて、お互いに今までとは違った見方が出来るようになったからでしょうか

夾竹桃はわが故郷 尼崎の市花。公害に強い花として尼崎市では街路樹・公園の樹木として沢山植えられ、夏になると赤や白の花を咲かせ、夏を告げる花。



しかし、その葉も花も派手さはなくむしろ公害華やかなりし頃はパッパも花もくすんで見えていた。従って、尼崎ではいろんなところに夾竹桃があるが、『夾竹桃が花をつけると夏』の感慨はあっても『きれい』などと思った事は一度もなく、むしろ花粉症の元凶的なイメージすら持った事がある。今思うと 小さい時には一番身近な夏の花だったのに・・・である。

夾竹桃の語らい

その工場の夾竹桃がきれいに刈り込まれ、下の写真のようになりました。
まるで宇宙人が夾竹桃の木になってお互いに語り合っているように見えませんか ??????????



夾竹桃の花は互いに何を語っているのでしょうか・・・・・・・・・・

柏の工場できれいな花をつけた夾竹桃。

一度写真を撮っておこうと思っている間に木の下半分側がきれいに刈られてしまいました。

うっそうと茂って葉っぱや花に隠れていた夾竹桃の幹がきれいに見えてくると今までと違ってまるで木々がお互いに話し掛けているしぐさのように見え出しました。これも発見です。

花を見るイメージは自分の心の現われとよく言いますが、夾竹桃の木一本一本が宇宙人のように見えてそれザレがお互いにスウィングし、語り合っているように見えてなりません。これも不思議な気分。今までまったく無関心だった夾竹桃の花がきれいに見え、しかもその木々が踊っているなどの想像われながらビックリ。

でもちょっぴり 故郷尼崎を思い出し、夾竹桃の美しさに惹かれ 新発見です。

みなさんにはどう映るでしょうか・・・・・・・・・・

2001..6. 柏 にて by M.Nakanishi



叱られて



理解



握手



接吻



高らかに二人で



皆さんにはどのように映るでしょうか?????

2001.8.3. by M.Nakanishi

12. 『日本人 はるかな旅 日本の源流』展を見て 2001.10.10.

ルーツの旅に現代を重ねて



「日本人 はるかな旅 日本の源流」展

国立科学博物館の正面には
前日起きたニューヨーク 貿易センタービル爆破テロの犠牲者への弔旗がかかげられていた
本当にむなしい出来事 人類の長い歴史の智恵で克服できないものであろうか

NHK で『日本人 はるかな旅』シリーズが始まっている。また、これにあわせ東京・上野の 国立科学博物館で『日本人 はるかな旅』展も始まった。

数百万年前 人類の祖先が誕生し、立ち上がって歩き出したその二足歩行の足跡が 350 万年前のアフリカの大地に記されている。その足跡化石が公開展示されていました。『ルーツのルーツ』に思いひとしお。アフリカで誕生した人類がその後地球寒冷化の中、凍りつく大地を獲物・温暖の地を求め 遠くアジア大陸を渡り シベリヤを経由して 3 万年前 樺太・北海道・本州へと日本にやって来た原日本人。

また、凍りつくアジア大陸の中、海面の低下により地続きの温暖の地となったマレーシア・インドネシア地域(スンターランド)から、2万年前黒潮に乗って沖縄・鹿児島を経て日本にやって来た縄文人。落ち着いた気候に変化したこの長い縄文時代から弥生時代じょうにかけ、海や海峡をわたり朝鮮や大陸から日本にやって来た渡来の民。

これら日本列島へやって来た人たちが混じり合って出来上がった日本人。

『日本人のルーツ・日本誕生』について、多くのロマンを込めて色々語られてきたが、そのペールが今ひとつはがされつつある。

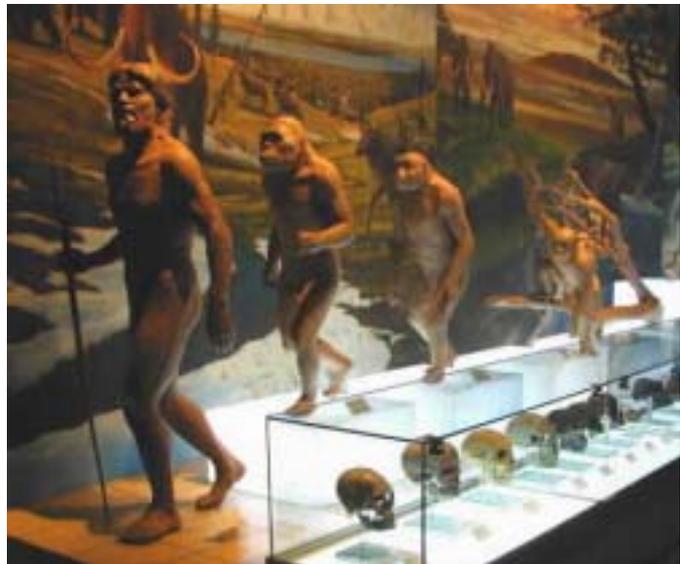
最近の遺伝子解析などの成果は数万年前の日本人のルーツの物語のみならず、『人類誕生の35万年前の姿』までも生き生きと浮かび上がらせている。ビックリするような話であるが、いずれも根拠と立証がなされつつあるのが素晴らしい。

この展示をみていると『日本人は島の単一民族』などという考えは全く根拠を失ない、まさに『人間みな兄弟』の感がふつと浮かんで来る。



アフリカ タンザニア

360万年前の人類の先祖が印した二足歩行足跡の化石
おとなと子供の二人連れか
「日本人はるかな旅」展で



人類進化の歴史

猿人・類人・原人から新人(現代人)へ
茨城県立自然博物館 展示より

また、視点を厳しい環境を生き抜いてきた人類 35万年延々と続く『知恵と技』に変えると「本当にまあ、よくこの激変する環境をのりこえてきたものだ」と感じる。

今を激変の時代と捕らえているが、そんなものちっぽけに見える。

縄文人は決して野山を駆け巡る野蛮人ではない。世界4大文明にも匹敵する『木の文化』を咲かしている。巨大な木を切り倒しそれを加工する技術は延々と今に続く日本の木の文化の支えである。

北の縄文の民三内丸山遺跡では巨大な木を加工する技を持ち、大きな集落の定住生活を栗などの木の実など植物栽培で成し遂げている。おそらく延々と栽培植物を捜し求め、やっと行き着いた結果であろう。

DNA分析が栽培をうらづけている。

鹿児島の上野原縄文遺跡で発見された大量の平底土器は三内丸山縄文人の祖先たちが土器と火を使ってどんぐりなどの木の実を貯蔵・灰汁抜きをする事でその主食を狩猟肉食から植物へ上げていった先駆の知恵であり、世界で一番早い平底土器使用と言われている。

この狭い日本列島での人口増ときびしい環境変化を知恵と技で生抜き、次々と素晴らしい技を生み出してきた祖先たちの姿が人類・日本人のルーツの中に位置付けられている。

1 天才の出現というより、その時々の人達が延々と技術を作り継承・改良してきた「人の技と智恵」。「必要は発明の母」とよく言うが、現代に置き換えても本当に「素晴らしいアイデア」である。でもこれらの技は開発・改良に数百年・数千年という長い時間をかけた伝承・改良によって成し遂げられた技術でもある。原始航海術など現代でも「解明できていない謎」も多いがこれらも同じだろう。現代のあくせくするスピードと付け焼刃的な対応「一夜にして変わる価値観」の連続多様化の時代 飽食の時代 機械文明の時代 といわれるが、何か満たされないこの現代を乗り越えるヒントがあるように思う。

いつも 技術革新に遅れまいとあくせくし、脅迫観念にとらわれている現代。

何か毎日がちっぽけで、「生き方がえなあかんのかあ・・・」との不安感にさいなまれる現代。

天才でもない人それぞれが今もコツコツと歴史を刻みつづけている。

この刻みが何千年・何百万年か先にまで受け継がれ、平成の技として刻み付けられていると思うと元気が出てきます。

こんな事が DNA 分析なんかで判るようになってきたこと全く知りませんでした、ビックリです。

現在の日本人は「縄文人/弥生人いずれに近いか?」を顔分析から分析した結果も DNA 分析もほぼ「3 対 7」の比率だそう。 おそらく 耳の中の湿り具合なんかの分析もそれにちかいのではないだろうか・・・『蒙古斑はどうなんだろうか・・・』なんて想像が随分現実味を帯びて考えられる。

「沖縄県人だ」「東北人」「はたまた京都の公家の出。 気質が違う」などと言ってみてもすべてこのルーツ日本人のかごの中で揺れているのにすぎないのか・・・。

そういえば、生き別れた親子の確認の手段に DNA 鑑定が使われるのも納得。

今まさに起こっている戦争も貧困と飢えに苦しむ南北問題も 先を急ぐのではなく ルーツをベースに基へ基へとたどってゆけば、和解の道 協働の道がひらけるのではないか・・・

共同の土俵へのアプローチこそ 350 万年前から延々と続く人類の知恵と技ではないか・・・

これを逸脱すると破滅への道 そんな風に思う。

技術屋では行き詰まった時は『原点に帰れ』とよく言うが、今がこれだろう。

また、この流れを解き明かしてきた分析・計測法の進歩が時間の壁を次々と取り払っている。

木に刻まれた年輪による年代計測法 放射性炭素 C14 による年代計測法など『時間を解き明かす計測法』と『ルーツ・伝承を解き明かす方法』としての DNA 分析等。

これらの急速な進歩によって、今を想像だにしなかったことが、次々と解き明かされている。

発掘で今の世に出てきた冷たい物としての道具や遺構が生き生きと人の姿 生活 生き様など時代時代の姿をふつふつと浮かび上がらせている。

立証の手段を持つ事が物事を次々と深くつき進め、あいまいさを取り去って物事を前向きに前進させてゆく。

人類がたどってきた足跡人類が生き延びてゆくためのアフリカからの壮大な旅 厳しい自然・環境変化との戦いの流れの中で会得した知恵・技の数々。何気なく暮らしてきた我々の中に引き継がれてきたそれらの大きさにビックリする。『本当にお互いに相容れないのでは・・・』と感じてきた肌の色さえも人類が環境対応の中で取得した知恵・技である。

『森の民 縄文人』といわれるが 森に手を入れ住める環境に変えつつ森を住処にしてきたわけで、うっそうとした原始林の中に住んでいたわけでない。決して原始の森は人間がすめたものでない。

縄文の『ストーンサークル』が作られた静寂の森の中に感じだ息遣いがこの人類がたどって来た足跡と知恵であったような気がする。

日本人はるかな旅 日本人の源流展をみて 歴史の流れと今を行き来しつつ
2001.10. 10.夜 暗闇を突っ走る東北新幹線の中で

13. 関東・柏で『京都うまいもの市』 2001.11.12.



INODA の珈琲

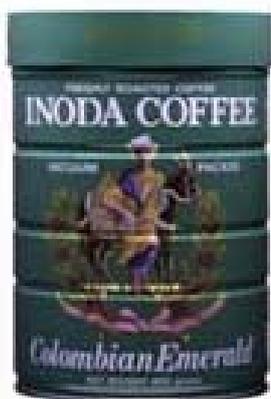


かぎや政秋 ときわぎと黄檗



錦市場 だし巻き

11月12日(日) 柏駅と高島屋をつなぐ2階コンコース広場の特設舞台で「舞妓さん」が踊っている。柏で京都を意識する事など無いのに珍しい事と立ち止まってしまいました。柏高島屋の「京都物産市」のPRらしい。また いつもの「うまいもの市か？」と思いつつも京都は特別やっぱり足が向いてしまいました。



INODA コーヒー

河原町の「INODA」コーヒー店。

京都の家内の実家に行くといつも兄が買ってきてくれた赤い缶に入った挽きたてのコーヒー。

京都人にはおなじみのコーヒー豆店で、昭和初期から京都にある珈琲豆の老舗。

神戸人の「UCC 上島コーヒー」みたいな特別の感覚。神戸では1年分豆予約して少しづつ挽いてもらっている御仁もいますが、京都人にとっても同じ感じの店が「INODA」。

うまいもの市で伝統ある和風の老舗にまじってコーヒー豆店があるなどいかにも京都気質。

家内などはコーヒーは「INODA」と・・・。

先日も京都駅の地下に「INODA」の店があるのですが、

満員でほかにも喫茶店あるのに「待って 飲もう」という・・・。柏物産展ではコーヒー豆だけでなくついぞ見た事ない「フリーズド ドライのインスタントコーヒー」を売っていました。

老舗もどんどん換わってゆく現実。でも関東やから・・・？

コーヒーの味わからん私ですが、その香りと味 やっぱりうまかったです。

百万遍の角の和菓子屋「かぎや政秋」の「黄檗」。くずを固めたものをきな粉でまぶして三角形に切った和菓子で確か茶席に使われるかと思っておりますが・・・上品なお菓子。

学生時代には最も縁遠いお菓子ですが、老舗の有名な和菓子と聞き、「手みやげ」によく買って「珍しいもの」と好評だった和菓子。 柏で出会えるとは本当に意外で、やっぱり買いました。

子供の時から好きでいつもお袋が焼いてくれた懐かしい「だし巻き卵(厚焼き)」。今は家内が柏に来ると帰り際につくりだめしてくれるのですが・・・錦市場の「だし巻き」もありました。

東京の甘くて硬い厚焼き玉子とはちょっと違って だしで卵を伸ばして非常にやわらかく焼くので、食べると口の中でほんわかとだしと卵の味が調和する絶品。

だし巻きは関西ではスーパーにでもあるのですが、なぜか東京にはなし。こんなうまいもの・・・と思うのですが。

ついでながら 鹿児島島の古い城下町「飴肥」にも「厚焼き玉子」が名物として売られていましたが、これはまた 甘いプリンかカステラみたいなもの。 関西人しか「だしまきたまご」の味わからんのかも・・・大安の千枚漬や土井の芝漬もありました。



百万遍 かぎや政秋の
「ときわぎ」(奥)と「黄檗」(手前)



錦市場のだし巻き

日本人は「駅弁大会」「美味しい物市」というと大好きで一番のイベントとよく聞きますが、僕もこれにはめられた一人なのか、今日は色々買って ご機嫌。

だんだん 「くいじ」がはってきたというか やっぱり懐かしいものが、一杯あってついつい色々買ってしまいました。

でも、物産展の人ごみの中 あれこれ会話しながら試食も出来るし、当時の事が本当にリアルタイムによみがえって、気分的にはウキウキ、懐かしい限りです。

単身の気ままな夜 此れをさかなに一人酒を飲む。 「息抜き 息抜き」です。

柏高島屋 「京都うまいもの市」の人ごみの中で

2001.10.12. By M.Nakanishi

14. 東京「珈琲の老舗」の「Aging 珈琲」2002.2.18.

東京 虎ノ門 コクテール堂



以前 京都の「INODA 珈琲」神戸の「上島珈琲」など関西の珈琲通のこだわりの珈琲を紹介しましたが、『東京にだって「虎ノ門」に伝統のうまい珈琲屋がある』と友人から聞いた。1月の雑誌「サライ」にそのこだわりの珈琲店 虎ノ門「熟成珈琲の cocktails 堂」と紹介されていました。

cocktails 堂の珈琲は豆を積んだ後 約900日 aging 熟成した後で焙煎する「熟成珈琲」。aging する事でほかの珈琲にはない「まろやかさと甘味」がでて、その美味しさに病み付きになると・・・。



2月14日の午後 東京へ出た帰りに「虎ノ門 コクテール堂」を探し当てて珈琲を飲んで帰りました。虎ノ門の交差点から少し新橋よりに戻った桜田通りにありました。

お店は満員でしたが、神戸の「西村」や百万遍「進々堂」等に似た清楚で落ち着いた雰囲気の中で飲む珈琲。珈琲の味はわからないのですが、「うまい」と思いました。

東京にも「老舗の珈琲あり」です。

早速一缶買って帰り、神戸の妹夫婦と一緒に飲みましたが「ちょっとソフトやけどうまい」といってました。

熟練の技には常識をも覆すすごい力がある事をこの珈琲でも見ました。

先入観もあかん事も含めて・・・

『 cocktails 堂の珈琲』そんなのもう知っているといわれそうですが、東京で興味のある人一度ご賞味あれ。

後日談ですが、ご満悦で「 cocktails 堂のコーヒー」を神戸に買って帰ったのですが、一緒に入っていたパンフには 京都の家内の実家へ行く時に乗り降りする地下鉄「北大路駅のビブレ 1F」に珈琲直営店があると書いてあり。

「知らなんだ 知らなんだ」です。こっちも今度京都に帰ったら行って来なければ・・・。

今まで、珈琲談義も本当にうらやましく聞いていましたが、今度からは一つ話に加われそう。
でも私はコーヒーの味は解らず。ただ 珈琲のプーンとおうあの香りそれが好き

2002.2.18. にて by M.Nakanishi

15. 縄文の土器が語る「物づくりの技」とプロの眼 2002.9.6.

- 縄文人と弥生渡来人の交流・コミュニケーションを解き明かした縄文土器の技



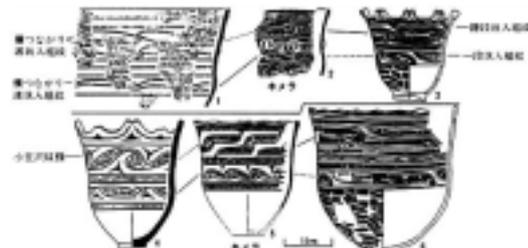
「有形・無形 100 を越える「質」の技術の集積で
プロ・工人はそれを五感を通して体得している」
製作された物のにそれが技術として表れ、プロはそれを見抜く。
それを見抜く者のみが技術伝承者となりうる。

「物づくり技術」の荒廃と理解が叫ばれる昨今
づくりの技」をそんな風 思っています。

9.6. 東京縄文塾で「縄文人のコミュニケーション」と題して小林青樹氏の話聞いた。
縄文土器の形状・描かれた文様などをプロの眼を通して正確に見て分類してゆくことにより、文字のない縄文時代の人の交流ネットワーク・経路 さらには 社会の構造が解き明かされたという。



亀ヶ岡遺跡から出土した縄文晩期の土器



縄文土器の複雑な文様

縄文晩期には 集落間には強い結びつきをもった集落交流が活発にあり、
その範囲も非常に広い。

糸魚川産ヒスイの加工基地には東北・長野の縄文人が直接やってきて加工を行い、その技術が東国の縄文人に広がっていった。

弥生の時代への黎明期 縄文人が弥生の渡来人を警戒し、日本東西の交流路が一時途絶えた。

また、その後 猛烈に 新しい渡来人の文化を取り入れようと渡来の民に東国の縄文人がアタックしていた。

はたまた、渡来の民も逆に縄文人の文化を取り入れ、融合していった
等々。

さっと言われると「ほんとかいな・・・見てきたようなうそ???'とにわかには信じがたい。

縄文から弥生の時代への移行期 原日本人である縄文人に代わって渡来の民を中心に西から順次東へ弥生の民が勢力を広げていったのが日本人のルーツ。

「その過程では新しい渡来の民である弥生人が縄文人を戦争によって駆逐していったのではないらしい。両者の融合によって時代が進み、日本人が形成された。」

とよく言われ、神話の世界でもやたらに融和の話が多い。

でも、その中身になると全くよく判らず、最近のDNA調査などの証拠以外に説得力のある話を聞いたことがなかった。ましてや、「縄文人が弥生の民にアタックし、交流してゆく様子がわかる」等 夢見たいな事と思っていましたが、小林氏の話聞いて 「う・・・ん」とうなっていました。

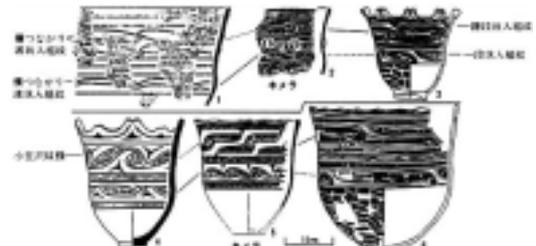
縄文晩期 紀元前1000年～紀元前100年頃 弥生時代到来夜明け前の縄文時代 日本には大きくわけると亀ヶ岡式土器を持つ東北・東国の縄文文化圏と日本磨研土器・突帯文土器という無文様・磨きを特徴とする西日本文化圏があり、この両文化圏の交流を含め、日本では活発な交流が行われていた事が出土する縄文土器の破片の精査から判ってきたという。

縄文晩期 東と西に広がる二大文化圏

【1. 北から長野・北陸にかけての東日本亀ヶ岡土器縄文文化圏】



亀ヶ岡遺跡から出土した縄文晩期の土器



縄文土器の複雑な文様

【2. 九州・中国・近畿に広がる西日本無文土器縄文文化圏】



黒色磨研土器の一例 大石遺跡



突帯文土器の破片 岡山大構内遺跡

「良い物をまねる」というのはいつの時代であっても同じであり、縄文時代 亀ヶ岡土器の文化圏内でもそれぞれの集団がよい土器を真似、求めて集落間の交流があったことは容易に推定がつく。

でも文字のない時代 見聞きだけでその技術を忠実に真似ることが、出来ようか?????

人が動き、コミュニケーション・コンタクトしてその製作をみんなに見せつつ 教えなければ 正確には伝わらぬ。

「人が動いて コミュニケーションがなければ もの真似だけでは忠実な土器製作の伝承はなされない。土器に残された土器製作の技 そして その技の稚拙さまでも含めて精査して出土場所・時代をつないで行けば人の動き・コミュニケーション そして 社会の構造が見えてくる。そしてそれらをつないで行くと前述した縄文人集団の中のコミュニケーションや縄文人と渡来人とのコミュニケーションまでもが浮かび上がってくる」と小林青樹氏はいう。

縄文土器を代表する亀ヶ岡土器などには「縄文芸術」と呼ばれるほど複雑で繊細な縄文の文様やつけられており、これらの文様や形などを手がかりに縄文土器製作に使われた技術・実際には土器の特徴的な表情を分けると 100 数十を越える項目になり、到底見聞きによる物まねのみではまねられない。

そこには確実に人の交流があったと考えるのが自然である。

そして その特徴伝播の稚拙さによって 交流の深さがわかる。

出土した場所とその特徴一つ一つをを重ねて行けば、人がやってきて出土した場所での交流を計ることが出来、今では土器の破片からどの遺跡とつながった土器か 繋がり深さまでもが判る。

また 作られた時代も判定がつき、青森津軽半島や八戸など東北で生まれ、縄文中期から晩期にかけて隆盛を極めた亀ヶ岡土器の文化圏がどのように西へ広がっていったか？

等々が手にとるように判ってきたと。

そして この土器の文様を手がかりに分類体系化する中で、無文の磨研土器・突帯文土器の文化圏の集落で特異的に東国の亀ヶ岡土器が混じって出土する例 時には大量に混在する例もが沢山見つかった。

同じ土器分類を有する集落ネットワークを調べ、つなぐ事で交流の歴史が解き明かされ、そして 前述した渡来人と縄文人や異文化圏交流のルートなどまで色々なことも明らかになってきた。

ここまで 謎解きされると段々わかってくる。もう 夢中で話を聞いていた。

本当にあざやかな素晴らしいアプローチだと思う。

「ほんとかいな・・・」と思っていた事が、謎解きされるとビックリするほど新鮮で・・・納得でした。

「縄文土器の破片集めたって・・・」と思っていましたが、さすがその道のプロ。視点が違う。

「現物を集めて その中に秘められた特徴を探し見る。そして そのルーツを探る。」

これ、まさに技術屋 物づくりの世界と全く同じ。 技術開発 技術解析の世界の現実と同じである。

兆候を見抜く眼がなければ 体系化も分類も出来ない。

それが解き明かされると「だれだって できるさ・・・」の聲がでてきそうであるが、先人の眼がなければ 出来ない世界。先人のプロの眼があってこそ出来る技である。

見抜ける眼と表裏一体なのが、その眼にとまった「物づくりの技」
縄文人が何千年かけて 模様や形そして材料に五感を駆使して作りこんだ技 決して物まね・見ただけ
では出来なかった技である。 だからこそ プロの眼でしか解き明かせなかったと思う。
縄文土器の分類にはそういった 100 を越える物づくりの技を対象に分類しているという。

現代の「物づくり」の業だってそうだろう。

簡単なまねは出来ても、実際に人が接しその製作の過程について 人の交流なしでは伝えきれぬ人の技。
物づくりの技術 名人芸と呼ばれなくてもそこに秘められた工人が持つノウハウ技術をどのようにして
伝えるのか・・・。

今 「物づくり技術」を大切に の言葉をよく聞くが、この事が理解されていないのではないか。

形は伝えられてもその質は人が人と交流しない限り伝えられぬ。

これは 縄文の昔から同じであり、その伝承・人と人の交流が新しい発見を産んでゆく。

技術を持ち 現場で物づくりを実践してきた人がどんどん消えている。コンピューター万能・
機械万能が今問い直されている。「質」を伝える技術の習得が今 必要となっている。

現在 無人化工場がもてはやされ、効率的な物作りの中で質へのこだわりがわすれられていない
か・・・・・・・・。

2~3 世代も変わらなくても、機械を動かすマニュアルはあっても もはや質を見る技術はなし 物まね
製品しか作れない そんな時代がもう眼前。質を見る眼は中国・韓国などアジアの若い物づくり大国に
ゆだねばならないのか・・・

昔 同じ立場にあった日本が今物が作れぬ逆転の危機に・・・・・・・・

欧米はその危機を克服したではないか・・・・・・・・の声もある。でも 今の日本はこの事にあまりにも
楽観的過ぎる・・・・・・・・

欧米では 物づくりの中に流れる思想を大事にし、手段・テクニックよりも流れ・思想 いわゆる流儀
を大事にする。 ISO のこだわりを見るとこの点がよく判る。

急速な転換・効率化を急ぐあまりこの点が日本では抜けているのではないか・・・・・・・・。

現場の荒廃・形骸化 物づくり技術の重要性が叫ばれる中 その中身の理解の貧困さにはがっかりして
いる昨今である。

技術の伝承・新しい技術創生には この名人芸・見抜く眼が必須であり、現場でしかこの技術は生まれ
ない。

縄文の技術・プロの物づくり技術を今プロの眼が解き明かす。 2000 年を経て・・・・・・・・。

鮮やか・・・と驚いてばかりはいられない。伝承が途切れた時のこの時間の長さ・・・。

以前聞いた昆虫・蛆虫のさなぎを見るプロの眼が解き明かした三内丸山遺跡集落の人の暮らし。

その時も同じ感激をあげたのですが、そんな事を思いながら小林氏の「縄文のコミュニケーション
の話」を眼を輝かして聞いていました。

日本の物づくり技術 また プロの眼をどのようにして育てるのか?????????

「物」を作る技術から「質」を作り「質」を理解する技術なしに先端技術・物づくりの再生は成し遂げ
られぬ。今一度 じっくり 縄文の土器を眺めてみようと思っている。

2002. 9.6. 縄文塾 東京

小林青樹氏 「縄文のコミュニケーション」 の話をきいて

16. 癒しの由来 2002.10.28.

今日の雑学+(プラス) マーケティング情報誌 小橋昭彦 より (抜粋)

インターネット配信 マガジンに 「癒しの由来」と題して 人を惹きつける「黄金分割」「フィボナッチ数列」の話が配信されてきました

これも マンネリの作り出す心地よさの所以か・・・ 抜粋概要転記します

今日の雑学+(プラス) マーケティング情報誌 小橋昭彦 より (抜粋)

癒しの由来

龍安寺の石庭が人の心をひきつける秘密は「木」にあるという研究発表を興味深く読む。石庭を見るとき、人は脳裏に石の間を縫うようにして伸びる木の枝を思い描いているのだという。

左右対称に伸びた枝は、もっともよい鑑賞位置とされている箇所では一本の幹になる。

研究チームの一員、京都大学の江島義道教授によると、落ち着く空間には5つの法則があるという。

「対称性」「距離感」「動き」「バランス」「子ども時代の慣れ」だ。

こたつに入ると落ち着くのは、まさにこれかなと連想する。

部屋の中央に置かれるから対称性を実感するし、立ったときより天井や壁との距離感が出る。寒い日 常から座ってぬくもるわけだから生活のバランスがとれるし、子ども時代の郷愁もある。動きはないけれど、たいていは別の辺に誰かが入っていて、みかんを食べたり縫い物をしたりして、動いている。

フィボナッチ数列というのがある。1、1、2、3、5、8、13、21、34と続く。

5と8を足して13というように、隣り合う数字を足して次にくる数字を作る。

数学の時間に松ぼっくりのかさを数えたりしただろうか。右回りに8個ずつ、左回りに5個ずつのらせん状に組み合わせさせている。

花の花弁の数、ひまわりの種のつき方、巻貝のまき方など、フィボナッチ数列は自然界にしばしば見られる。

さて、フィボナッチ数列といえば黄金分割。

数列の隣り合う数字を割り算する。13を8で割ると1.625、21を13で割ると1.615。どこをとっても似たような数字になる。

すなわちこれ、黄金比。

比率が1対1.618になっている長方形はもっとも調和がとれているとされ、ミロのヴィーナスをはじめ芸術品にも見られると言われる。黄金分割は、自然の中にフィボナッチ数列として隠れているともいえる。

石庭に木を幻視し、美術品に自然を見る。

それらが癒しを与えてくれるとするならば、きっとぼくたちの根っこがどこにあるのかを教えてくださいたいのだらう。

2002.10.28. 配信

今日の雑学+(プラス) マーケティング情報誌 小橋昭彦 より (抜粋)

17. 映画「阿弥陀堂だより」を観て 2002.10.27.



10.27. 日曜日 午後 柏で時間が空いたので 星野富弘さんの詩画展を観て、それから 映画「阿弥陀堂だより」を見ました。 すごく美しい映画で 気分もゆったり お奨め

映画は日本の映画独特のちょっとネチネチとしたいやし系

ぼくはどちらかというと好きなんです、**「雨あがる」**の黒沢組スタッフの製作した映画

日本の原風景 長野県飯山・妙高の山々に囲まれた山郷の四季が千曲川越しに次々と写されて その美しい風景をバックに年老いた老婆役の北林谷枝を通じて、静かに語られる**「生きるの言葉」**に見入っていました。

星野富弘さんの足尾・渡良瀬の野草を通じて語られる言葉といい、映画の中で、自然に囲まれて生きる人々を通じて語られる言葉といい 現代人が忙しさの中に思考をとめてしまったもの、この原作者の南木佳士氏が言う**「マンネリに体をゆだねる 心地よさ」**なのかも知れぬ。

星野富弘さんの詩画展を見て 阿弥陀堂だよりの映画

どっちも 力はありませんが 静かな中で ゆったりとした気分 ころろの洗濯です。

阿弥陀堂だより 概要 <http://www.amidado.com/> より

心の病がきっかけで、夫の孝夫（寺尾聡）と共に彼の故郷である信州の山間にある村に診療医としてやってきた美智子（樋口可南子）。

そこで2人は死者がまつられた阿弥陀堂に暮らす96歳のおうめなど、町の人々との触れあいの中で、質素に生きる喜びを知り、人生について再確認するのだった…。

「外見・姿はその人の内面・心を表わす」

「質素なものばかり食べていたのが長寿につながったのなら、貧乏なことはありがたいことです」

と語る老女。

長野県飯山市を始めとした奥信濃の美しい四季を共に、そこで暮らす老女の生きざまをインタビュー形式で語らせ、阿弥陀堂だよりとして観客に伝える。老女を演ずるのは私の好きな90才を越えた北林谷栄さん

「質素なものばかり食べていたのが長寿につながったのなら、貧乏なことはありがたいことです」と語る老女の生き生きした顔は 今日 教会で説教を聴き・黙想した「貧しいものは幸いである」の言葉と同じではないか・・・・・・・・

信州 千曲川越しに観る妙高の美しい四季の自然の美しさに載せて語られる言葉にはおもわず息を呑む。演じているのがくぼくの最も好きな女優さんの一人である北林谷江さんである事をさっぴいても……



長野県飯山 頸城アルプス 妙高山 夏 & 冬

実は映画見に行った時は知らなかったのですが、「阿弥陀堂だより」の著者南木 佳士さんは農民地域医療の先駆けとなった長野県臼田町佐久総合病院の内科医長さん。

学生時代に医学部の人から佐久にすごい病院があると聞いた記憶があり、「人のつながりと心を大切にする」佐久総合病院の地域医療についてはNHK「プロジェクト X」にも取り上げられた。

「人を大切に」につながる人の流れ。

「佐久」と「飯山・妙高」自然と人の暖かさが重ねられ 合い通じる「阿弥陀堂だより」の映画

今春 たたらを訪ねて訪れた佐久平 佐久町の「茂来山」。

この佐久町の隣町が佐久総合病院のある臼田町。また、佐久町の千曲川のほとりには縄文の大集落遺跡がある。縄文からつづく「心の暖かさ」と佐久の暖かい四季の移ろいが佐久をつくったのか……………妙高の景色の中の阿弥陀堂のイメージはこの佐久にあったのか……………と自分で勝手に納得している。

阿弥陀堂だよりの著者 南木佳士氏は「阿弥陀堂だより」を書いた時の心境についてかれた文をインターネットでみつけた。

日帰り登山で下山するとき、急な登りであえいでいた余裕なき己の姿を鮮明に思い出す、笑う気にはなれない。それに似た感情をあこのころの自分に対して抱く。人生の山を登りきる直前の苦しさだったのかもしれない。

だから、いまは肩の力を抜いてゆっくり景色を見ながら下ってゆく心地よさを何よりも大切にしたい。

それを支えるのはマンネリを好むからだの声に逆らわずに暮らすことなのだと五十歳になってようやく気づいた。

ほんとうにそんな心境で「肩肘はらずに 無理せず 自然のままに 頑張らずに生き活きと……」と呪文のように唱えるのだが、中々うまく行かない日常。

時々 こころの洗濯をして あるがままに……でも 少しは行動的でありたい。

2002.10.27. 夜 by M. Nakanishi
星野富弘さんの詩画・映画「阿弥陀堂だより」を観たあとで

18. Merry Christmas !!

2002年 柏でのクリスマス 2002.12.24.



日本聖公会 柏聖アンデレ教会 2002.12.24.

師走 今年は寒い日が続き、街には華やかなクリスマス イルミネーションが輝いています。
でも、なんか うつろろで 全く師走・クリスマス シーズンの感じがしません。年々 感激性が薄れて行くのは歳の性でしょうか

今年のクリスマス テーマ は「愛」の中に 「和解」「平和」そして「希望」を託す
街の華やかさとは裏腹に デフレ不況とリストラの波はもう 産業構造を根底から変えないと収まらぬ
ところまで来て、地球規模での環境問題の深刻化 世界戦争の危機等 知らず知らずのうちに自分の身
にまでそれらが及んできています。

もう 現状維持型の将来の夢など追えない時代 団塊の世代が作り上げた時代は脆くも根底から遷り変
わる運命。

技術・産業の時代から 知識・情報の時代へ 団塊の世代に 何か 智慧はないのか・・・・・・
素材産業である鉄鋼の技術屋として40年。 日の出の勢いで「産業の米」として日本を支えた重厚長大
の素材産業の蓄積はなんだったんだろうと思う事が多いこのごろです。

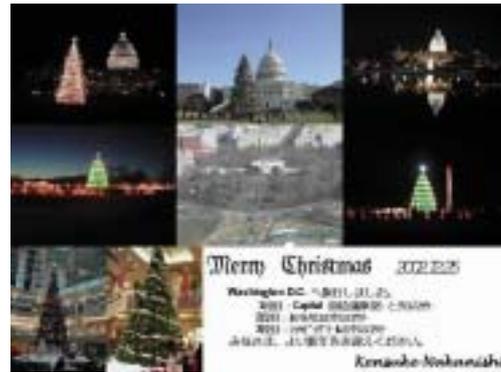
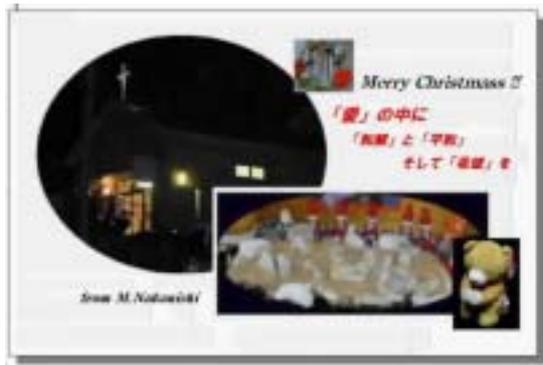
柏で迎える4度目のクリスマス。

この夜、みんなと一緒に 世界中で求められている「和解・平和・希望」の祈りを捧げ、その後 北柏
の街へキャロリング。



北柏の街で 2002.12.24. 夜
日本聖公会 柏聖アンデレ教会 メンバーで キャロリング





アメリカ ワシントン DC の クリスマス
息子のクリスマス カードより.



私は来年 還暦 新しい未来に自分も・・・と思いながらのクリスマス。
家内は神戸で 娘一家は箕面で・・・。
また、アメリカ アトランタにいる息子が、ワシントン DC で
クリスマス イヴ を迎えたと言ってくれました。
みんな それぞれの場所で 思いはひとつ
「平和」が世界に満ち満ちますように

2002.12.24.夜 by M. Nakanishi

19. 暖かい冬の週末 柏 ひだまり Walk 2003.1.26. & 2.1.



筑波 牡丹園



牛久 神谷シャトー



流山 利根運河

今 家内が 柏の整理に神戸から来て来ています
寒い朝 ぎりぎりまで寝ていて 朝飯が出来ていのに感謝しています
暖かい快晴の週末 社宅にいるのがもったいなくて近くを Walk

1. 26. 柏の北の街 牛久にある 筑波 牡丹園の寒牡丹を見て 近代産業遺産の一つと称される明治の洋館 神谷シャトーに出かけました
牛久の西の端 筑波市との境に牡丹園があり、冬の牡丹で有名冬になると JR 柏駅に大きな宣伝の看板がでる。冬牡丹のシーズンオープンとの新聞。
又、牛久駅の近くの林の中にある神谷シャトー。「日本で最初に葡萄酒製造した日本近代産業遺産の建築物の中でゆったりとした雰囲気でお昼を楽しめる」と本に出ている。

最近のワイン城は各地に出来てはいいものの産業遺産としてのワイン醸造工場が残っている。
この二つをつないで 1.26. 日曜日の午後 ゆっくりと牛久ですごしました。

2. 1. 利根川と江戸川をつなぐ利根運河の土手を歩きました。

丁度 銚子の河口から 100km〔正確には 96.5km〕のところ柏と野田市の境のところから横へ江戸川まで
明治に掘られた利根運河 利根川流域から東京への物資輸送の大動脈
京都に琵琶湖疎水とインクラインがありますが、この利根運河も日本近代化の 1 ページ
今は 運河沿いに美しい桜並木が並ぶよく整備された自然公園

1. 冬 牡 丹 2003.1.26 筑波 牡丹園で



静かな林の中 ひとつひとつ わら帽子をかぶせてもらって 女王の品格と美しさ
大輪の冬牡丹 豪華で あでやか

「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」

昔から美人を表現するのに使われた花。また そのあでやかさは 背中の刺青 そして 花札に
大輪の花一つで 画面いっぱい パツとはなやかになる。 昔から愛された所以であろう。



筑波牡丹園 冬牡丹 ギャラリー 2003.1.26.



筑波牡丹園 冬牡丹 ギャラリー 2003.1.26.

1輪で全体を主張する寒牡丹 すごいですね

大輪の花が今を盛りと咲き誇っている春の牡丹もいいですが、ひとつひとつ 大事に帽子をかぶせてもらっているのもそれぞれが個性を発揮していて楽しい。

牡丹もその系統もが幾つもあって 一つとして同じものがこの牡丹園には植えられていない。園の人によると種類は五万とあるという。

ふっと頭に浮かぶのは 花菖蒲・朝顔など日本古来種の品種改良の歴史がこの花にもあのだらう。

静かな田園に囲まれた岡の斜面の林の中にひとつひとつ我が家を持って咲く 寒牡丹

久しぶりにゆったりと花を見ながらの陽だまりの散策 デジカメ写真も楽しく 家内とスライドショーにして楽しんでいます。

2. 日本の葡萄酒 発祥の地 牛久 神谷シャトーで 2003.1.26.



僕が小さい頃にはまだ 蜂印の葡萄酒ありました。

その蜂印葡萄酒の醸造場を中心とした洋館立ての工場が柏市の隣牛久市に牛久神谷シャトーという名の美しい洋館として残っていると言う。近代産業遺産としての価値の高い建物である。

最近の地ビールや地ワインの工場など最初から観光目的の建物と違って やっぱり歴史の重みがある美しい建物である。広い庭の木立の間に立つレンガ造りの洋館はやっぱりシャトーの風格



神谷伝兵衛 記念館 旧蜂印葡萄酒 貯蔵蔵

「ゆっくり ワインを飲みながら料理を味わって」と思っていたのですが、残念ながら結婚式の貸切今日ではダメ。でも この洋館の中でのティも素晴らしいもまのでした
気取らず 金儲け主義でもない ゆったりとした雰囲気の中で日曜日の午後 家内と二人 お茶して帰りました

蛇足ながら 珈琲カップや ケーキ皿 全て ナルミのボンチャイナ

洋館の高い柱 天上のシャンデリアとマッチして 豊かな気分にしてくれ ご機嫌でした。



天井のシャンデリアには蜂の図案
ナルミ ボンチャイナ の ティーカップ にも出会って
ステキな午後のひとときでした

3. 利根川土手から 流山 利根運河 WAIk 2003.2.1



柏 利根川土手 土手の向こう正面に筑波山 2003.3.1.

柏・野田・流山の境はずれ 東武野田線に「運河」という駅がある。
「運河」というとどんなイメージ 持ちますか・・・
家内はスエズやパナマ運河をイメージがするという。

私は尼崎に住んだせいか港に
近いいかだに組まれた材
木置き場やはしけ溜まりがあ
る濁った川のイメージ



利根川と江戸川を結ぶ利根運河

東武「運河」駅周辺ではあまり広くない川の土手には桜並木が続き、よく整備された河川公園川にそって広がっている。川にそって東京理科大のキャンパスや整然とした住宅街がひろがり、美しい高級住宅街の感。

なんでこんな美しい場所に「運河」なんていう地名つけるのか 僕にとっては 常々不思議なのですが、やっぱり住んでいた尼崎の印象がよすぎるのか・・・。

柏から利根川の土手に出て 利根川越しに筑波山を見て万がよければ 振り返った南の遠くに白銀輝く富士山。 利根川の土手をゆったり北へ歩くと上記した利根運河の利根川口に至る。

銚子の利根川河口から丁度 100km の地点である。

ここから 西へ江戸川までをつなぐのが、明治に利根川流域の物資を東京へ最短コースで結ぶ輸送路として民間で掘削開通された利根運河。そういう意味ではこの利根運河も近代産業遺産。



利根川土手 柏周辺と銚子から 95km の標識



この柏・野田の北 関宿から江戸川が分流され、利根川を通過して関宿で江戸川にでて江戸・東京へ出る航路は関東の物資輸送の幹線であり、野田はその物資集散地として栄えたと言う。しかし、暴れ川利根川の中流に属するこのあたりでは 昔から水路がしばしば変わり、又浅瀬の出現が航路を阻む。利根川の下流域の物資はしばしば

柏から陸路で流山の江戸川へパイプカットされることも多く、利根運河の必要性が昔からあったという。明治になって 幾度となく 利根川と江戸川をつなぐ運河の計画の挫折を経て 明治 23 年にこの利根運河が完成し、鉄道網が展開するまで 物資輸送の幹線として 多くの船が入り出したと言う。

そんな歴史を秘めた利根運河ではあるが 今は遊歩道・サイクリング道路が整備され、周辺の市民の憩いの場。

断片的には知っていたのですが、僕にとっては「運河」の言葉はさほど良いイメージなく、きっちり歩いた事なし。



根運河入口 遠景は建設中の筑波エクスプレス

そんなことで 2.1.土曜日 柏花野井の家から 利根川沿いを歩いて 利根運河の利根川口へ そして運河沿いにぶらぶら 東武「運河」の河川公園まで歩き、そのまま運河を離れ、深井の里を抜け 工業団地の横を花野井へ

ほぼ 昼をはさんで 5 時間 約 16km 野鳥の声を聞きながら 川岸や雑木林の中を気持ちの良い walk 今 柏の利根川周辺は平成 17 年を目指した常磐エクスプレスの新線工事が真っ最中。瞬く間に橋脚が建

ち並びました。

この利根川岸には柏北部駅が出来ると言う。

「どこまでも続く原っぱと利根川の土手 そして その向こうに頭をのぞかせる筑波山」の景観ももうまもなく 駅と住宅街の中に埋もれてしまうでしょう。



運河の川底はポカポカ陽気 ひゅんひゅん風が舞う利根川土手とは大きく様変わり。 だれもいない土手下 芦原と川の流れと鳥の声
時折 土手をサイクリングする人の声 自然浴 自然浴
利根運河 河原で



根運河 東武「運河」駅 近傍

「運河」等と呼ばず、もっと良い名前ないのでしょうか・・・・・・

もう 僕の頭にある「運河」のイメージとこの「利根運河」は全くべつ。

よく整備されているはいえ 自然一杯の Walking Road

これで 富士山見えたら最高なのですが、今日はダメでした。

2003. 2. 5. by M. Nakanishi